

政策シート

政策名 05 地域の文化遺産の保全・活用

予算費目名 01 博物館費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 06 文化・生涯学習

理想の姿 (30年後)	◆創造都市を実現し、音楽の都として世界から注目されている。
政策の柱 (10年後)	◆音楽などの芸術をきっかけとして新たな文化や産業が創出されている。 ◆多様な歴史・文化による豊かさやスポーツによる喜びを市民が実感している。

基本政策 01 感動のある生活、歴史・文化・スポーツによる豊かさの創造

(2) 政策の概要(当年度(2022年度)実施内容)

- ①魅力ある展示会・学習会・講座・体験会などを開催し、博物館で学ぶ機会を拡充する。
- ②歴史資料を適切に保管するために、収蔵資料台帳を整備し、デジタル化するとともに、調査研究に基づいた資料の公開活用を進める。
- ③市民の博物館活動への参加と、地域、学校、大学等との連携事業を推進する。
- ④国指定史跡蜷塚遺跡を魅力ある遺跡公園にするため整備基本計画を策定し、併せて博物館リニューアル基本構想の策定を進める。
- ⑤市民の要望に応え分館の事業の充実を図る。

(3) 関連するSDGsのゴール

④教育	⑥水・衛生	⑧成長・雇用	⑪都市	⑱生産・消費				
-----	-------	--------	-----	--------	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	92,367	80,983	75,102	97,068		
決算	85,673	68,198	67,515			
人件費(報酬等)(A)	190	3,355	2,704			
人件費(人工分)(B)	87,000	86,200	86,200	82,600		
年間経費(予算又は決算+A+B)	172,863	157,753	156,419	179,668		

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
博物館の年間利用者数	人	目標	141,000	141,000	141,000	141,000	141,000	141,000
		実績	107,253	75,782	89,770			
分館における展覧会開催数	回	目標	12	14	16			
		実績	14	16	18			
特別展及びテーマ展の平均満足度(10点満点)	点	目標				7.8	7.9	8.0
		実績			7.5			

4 前年度(2021年度)政策評価

(1) 前年度(2021年度)実施内容

- ①魅力ある展示会・学習会・講座・体験会などを開催し、博物館で学ぶ機会を拡充した。
- ②歴史資料を適切に保管するために、収蔵資料台帳を整備し、デジタル化するとともに、調査研究に基づいた資料の公開活用を進めた。
- ③市民の博物館活動への参加と、地域、学校、大学等との連携事業を推進した。
- ④市民や学校の要望に応える新たな博物館構想の策定に着手するとともに、分館の事業の充実を図った。
- ⑤国指定史跡蜷塚遺跡の適切な保存と活用を推進するため、保存活用計画を策定した。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗>	計画通り
<ul style="list-style-type: none"> ・博物館資料研究室などの照明器具修繕工事、会議室の壁面塗装修繕工事、伊場遺跡公園のカイツカイブキ等剪定工事等を実施し、博物館来館者や公園利用者が安全に博物館や史跡を見学できるよう学習環境を保全した。 ・テーマ展「独礼庄屋 高林家」「縄文グルメ 縄文人は何を食べたか-」「新収蔵品展」、小展示「古墳へでかけよう！～浜松の横穴式石室～」を開催するなど、所蔵資料の展示や教育普及事業を行った。 ・蜷塚・伊場遺跡再生プロジェクトとして再整備の方針を示し、蜷塚遺跡保存活用計画を策定した。 	

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	博物館運営事業	○	○			71,198	49,218	2.5			1.6	
2	遺跡公園運営事業	○	○			29,434	20,614	1.1			0.4	
3	博物館展示会開催事業	○	—	○		22,886	13,366	1.2			0.4	
4	学習会開催等連携事業	○	—	○		23,344	3,884	2.1			1.7	
5	博物館資料調査収集活用事業	—	—	—		32,806	9,986	2.1			2.9	
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						179,668	97,068	9.0			7.0	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 博物館運営事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

博物館は、浜松地域の歴史と文化を紹介する博物館施設を管理し運営することにより、浜松市民の学習を支援する機能を維持する。これにより、新しい時代に向けた浜松市民の文化創造に寄与していく。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1979	—	一般会計	自治事務(その他)	浜松市博物館条例

(3) 事業の位置付け

主要事業	<input type="radio"/>	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	<input type="radio"/>	(施策)							
重点戦略		(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

			④教育			⑧成長・雇用	
⑪都市	⑫生産・消費						
事業とゴールの関連性		・歴史学習を支援する機能を維持し、文化創造に寄与する。					

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	47,292	40,723	38,890	49,218		
	決算	44,301	36,119	37,229			
	国・県支出						
	市債						
	その他	3,600	3,060	1,389	4,052		
	一般財源	40,701	33,059	35,840	45,166		
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)	190	1,733	1,620			
	人件費(人工分)(B)	21,480	20,580	23,380	21,980		
人工	正規	2.4	2.3	2.7	2.5		
	再任用(31h)	0.6					
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.9	1.6	1.6	1.6		
年間経費(予算又は決算+A+B)		65,971	58,432	62,229	71,198		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
				(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
博物館の年間観覧者数(人)			目標	71,000	71,000	71,000	50,000	50,000	50,000
			実績	59,788	42,140	51,073			
SNS更新回数(回)			目標				200	200	200
			実績			215			
ミュージアムグッズ開発件数(件)			目標				3	3	3
			実績			5			
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

2022年度

分野

06

基本政策

01

政策

05

予算費目

01

所属コード

000632000

事業

01

(担当課)

文化財課(博物館)

(責任者)

平田 隆

(基準日)

2022.7.1

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

以下の博物館と分館の建物、設備等の維持管理と本館・分館の運営を行った。

- ・博物館施設
- ・市民ミュージアム浜北(指定管理施設)
- ・姫街道と銅鐸の歴史民俗資料館
- ・春野歴史民俗資料館
- ・水窪民俗資料館
- ・舞阪郷土資料館(指定管理施設)
- ・旧カモシカと森の体験館
- ・旧龍山郷土文化保存伝習施設

博物館リニューアルに向けて、博物館の現状分析や課題整理を行った。

- ・プロジェクト・マネージャーを委嘱し、博物館の管理運営手法について検討するとともに、複数の改善提案を受けた。
- ・官民連携地域プラットフォームへ参加し、民間事業者との意見交換を行った。



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・博物館では、空調制御盤修繕工事、電気設備工事、窓ガラス修繕工事等を実施
- ・水窪民俗資料館では、トイレ修繕工事を実施
- ・春野歴史民俗資料館では、非常照明電池交換工事を実施

これらの事業を執行したことにより、市民の歴史学習を支援する機能を維持でき、施設管理満足度も90%を維持できた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮した施設運営
- ・博物館法改正案が閣議決定された。(2022.2.22) ※博物館登録制度の見直し等
- ・国の方針として、公共施設への民間活力導入推進が加速化している。(本市も同様の方向性)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

博物館においては、空調関係機器工事、分館では消防設備の修繕などにより施設機能が改善し、来館者の安全、施設の適切な管理が確保された。

また、プロジェクト・マネージャーの助言に基づくエントランス部分の配置変更により、博物館へ入館しやすい空間を創出することができた。

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・施設の長寿命化と大規模改修を考えるとともに、来館者の安全と満足度が確保できる維持管理を目指していく。
- ・博物館リニューアルについては、課題をさらに洗い出し、基本構想の策定に反映させるよう協議・調整を継続していく。



7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

以下の博物館と分館の建物、設備等の維持管理と本館・分館の運営を行う。

- ・博物館施設
- ・市民ミュージアム浜北(指定管理施設)
- ・姫街道と銅鐸の歴史民俗資料館
- ・春野歴史民俗資料館
- ・水窪民俗資料館
- ・舞阪郷土資料館(指定管理施設)
- ・旧カモシカと森の体験館
- ・旧龍山郷土文化保存伝習施設

・博物館リニューアル基本構想の策定を進める。併せて、管理運営手法の更なる検討のためサウンディング型市場調査を実施し、民間活力導入の可能性を検討する。

事業シート (事業名) 02 遺跡公園運営事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

博物館は、蜷塚(遺跡)公園を、隣接する博物館と一体的に管理し、伊場遺跡公園とともに学び憩える歴史公園としての機能を維持するとともに、蜷塚遺跡については、保存活用計画を策定し、公園の再整備に着手する。これにより、貴重な歴史的文化遺産の保護と活用を図る。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1979	—	一般会計	自治事務(その他)	浜松市博物館条例

(3) 事業の位置付け

主要事業	<input type="radio"/>	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	<input type="radio"/>	(施策)							
重点戦略		(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

			④教育			⑧成長・雇用	
⑪都市	⑫生産・消費						
事業とゴールの 関連性	・歴史公園としての機能を維持し、貴重な歴史的文化遺産の保護と活用を図る。						

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	24,446	20,422	17,072	20,614		
	決算	23,760	16,828	16,018			
	国・県支出		990	864	2,923		
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	23,760	15,838	15,154	17,691		
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		8,440	10,920	10,920	8,820		
人工	正規	1.0	1.4	1.4	1.1		
	再任用(31h)	0.4					
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)		0.4	0.4	0.4		
年間経費(予算又は決算+A+B)		32,200	27,748	26,938	29,434		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
				(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
公園整備件数(件)			目標	6	6	6	6	6	6
			実績	6	6	6			
蜷塚遺跡再整備事業に関して市民 や民間等に意見を聞き取る機会 (件)			目標				3	3	3
			実績			4			
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)									
2022年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	06	01	05	01	000632000	02	文化財課(博物館)	平田 隆	2022.7.1

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

- ・蜷塚公園及び伊場遺跡公園の除草・樹枝剪定等の業務委託事務、公園用地の賃貸借契約事務など、維持管理業務を行った。
- ・園路の補修工事、植栽の伐採剪定工事など、公園の整備を行った。
- ・史跡蜷塚遺跡保存活用計画を策定した。



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

○蜷塚公園・伊場遺跡公園維持管理事業

蜷塚公園・伊場遺跡公園における、樹木等の管理及び伊場遺跡公園巡回清掃を委託として実施した。

○遺跡公園整備事業

蜷塚公園整備・修繕として園路補修工事、公園内危険木伐採工事等を、伊場遺跡公園整備・修繕として公園内枯れ松伐採工事、公園駐車場側溝蓋ほか修繕工事を行った。以上により、浜松の歴史文化を学習でき、親しみのある両公園を維持できた。

○蜷塚遺跡再整備事業 2020年度からの2か年をかけて蜷塚遺跡保存活用計画を策定した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

公園内の園路の補修や、高木の剪定、伐採等により、公園の外観の修復を図るとともに、利用者が公園を安全かつ快適に使用できるように努めた。

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後も、貴重な歴史的文化遺産である蜷塚公園及び伊場遺跡公園について、修繕整備と維持管理に努めていく。蜷塚遺跡については、保存活用計画に基づき再整備に着手する。

また、ボランティアとの協働をはじめ、市民目線に立った公園づくり、魅力アップに努めていく。



7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

- ・蜷塚公園及び伊場遺跡公園の除草・樹枝剪定等の業務委託事務、公園用地の賃貸借契約事務など、維持管理業務を行う。
- ・園路の補修工事や樹木剪定工事など、公園の整備を行う。
- ・蜷塚遺跡保存活用計画書の印刷を行う。
- ・国指定史跡蜷塚遺跡の適切な保存と活用のため、整備基本計画を策定する。

事業シート (事業名) 03 博物館展示会開催事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

博物館は、常設展や特別展・テーマ展などの展示会で浜松市民が地域の歴史文化遺産について実際に目に触れる機会を創出する。また、観光や学習等で浜松を訪れる人々にも、地域の個性ある歴史文化を紹介する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1979	—	一般会計	自治事務(その他)	博物館法

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	○	(施策)							
重点戦略	—	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

	⑪都市	⑫生産・消費	④教育	⑥水・衛生
事業とゴールの関連性				
	<ul style="list-style-type: none"> 市民へ生涯学習の機会を提供するとともに、学校教育との連携を深めていく。 市民が地域の環境について関心をもつ機会を創出する。 地域の歴史文化遺産を活用したまちづくりや地域振興を促進する。 			

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	11,125	10,689	4,258	13,366		
	決算	9,662	8,378	2,428			
	国・県支出						
	市債						
	その他	2,403	1,339	2,366	4,341		
	一般財源	7,259	7,039	62	9,025		
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)		644	192			
	人件費(人工分)(B)	15,840	14,440	12,340	9,520		
人工	正規	2.0	1.8	1.5	1.2		
	再任用(31h)	0.2	0.2	0.2			
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.4	0.4	0.4	0.4		
年間経費(予算又は決算+A+B)		25,502	23,462	14,960	22,886		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
				(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
特別展及びテーマ展における来館者数(人)			目標	43,000	43,000	43,000	30,000	32,000	34,000
			実績	32,540	24,032	29,311			
特別展及びテーマ展の平均満足度(%)			目標	90	90	90			
			実績	90.4	88.6	94.2			
市民協働産学連携による展示会の開催(件)			目標	3	4	4			
			実績	4	4	6			
分館における企画展の開催(件)			目標	12	14	16	16	16	17
			実績	14	16	18			
常設展における資料の年度内更新数(回)			目標				4	4	4
			実績			2			

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

常設展・テーマ展開催事業

- ・常設展では、浜松市内の歴史文化について通史的に紹介した。
- ・常設展の内容の一部を深く掘り下げて紹介するテーマ展等を特別展示室で開催した。
- ・常設展やテーマ展を補完する小規模な展示を、展示ホール等にて開催した。

巡回展開催事業

- ・本館で実施したテーマ展について、分館での巡回展を開催した。
- ・各分館の所在する地域の特色に基づいた企画展を区役所や協働センターと連携しながら開催した。
- ・指定管理者による自主事業を開催した。

特別展開催事業

- ・2021年度は開催しなかった。



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・特別展の開催は無く、テーマ展等を年4回開催した。また、学校教育と連携した「道具たちの百年」など小展示を開催した。新型コロナウイルスの影響もあり、来館者数は少ない状況が続いている。
- ・分館では、本館開催のテーマ展示の巡回展により、本館から遠方にお住まいの方に観覧していただく機会を提供した。また地域の特色を活かした企画展を本館や区・協働センター・指定管理者によりそれぞれ実施した。
- ・常設展については、更新をあまり行うことができなかった。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・新型コロナウイルス感染症への対策(感染防止の取組及びデジタル化)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・常設展の更新は予定より進めることができなかった。
- ・テーマ展については、ほぼ予定通り開催することができた。
- ・分館の展示については、区・協働センター・指定管理者等との協力により、予定通り進めることができた。
- ・特別展は開催しなかったが、2022年度開催分の準備を進めることができた。

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・常設展の部分的な更新を計画的に行い、それを周知することで、リピーターの増加につなげる。
- ・テーマ展については、調査研究成果や市民ニーズ等を踏まえて内容を検討し、今後の博物館リニューアルにおける新たな常設展示にも反映させることを目指す。
- ・分館の展示については、引き続き協働センターや指定管理者等と連携し、地域の特色を踏まえて実施していく。



7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

常設展・テーマ展開催事業

- ・常設展では、浜松市内の歴史文化について展示内容を4件程度更新しながら、通史的に紹介する。
- ・テーマ展を3件特別展示室で開催する。
- ・常設展を補完する小規模な展示を、展示ホール等にて開催する。

巡回展開催事業

- ・本館で実施したテーマ展について、分館での巡回展を開催する。
- ・各分館の所在する地域の特色に基づいた企画展を区役所や協働センターと連携しながら開催する。
- ・指定管理者による自主事業を開催する。

特別展開催事業

- ・三方ヶ原の戦い450年記念事業として「三方ヶ原の戦いと家康伝承」を開催する。

事業シート (事業名) 04 学習会開催等連携事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

博物館は、地域の歴史文化遺産を広く紹介し、市民の学習、研究の機会を広めるため、講座・講演会・学習会等を開催して、市民協働参画のもと世代を越えた文化の継承を目指す。また、未来を引き継ぐ子供には、土日や長期の休日に子供向けの講座・体験学習などの学習機会を提供する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1979	—	一般会計	自治事務(その他)	博物館法

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	○	(施策)							
重点戦略	—	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

	④教育	⑥水・衛生	⑧成長・雇用
⑪都市 ⑫生産・消費			
事業とゴールの関連性	<ul style="list-style-type: none"> 市民へ生涯学習の機会を提供するとともに、学校教育との連携を深めていく。 市民が地域の環境について関心をもつ機会を創出する。 市民や民間団体等と連携し、歴史文化遺産を活用したまちづくりや地域振興を促進する。 		

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	4,659	4,074	4,074	3,884		
	決算	3,971	2,472	2,560			
	国・県支出						
	市債						
	その他	1,355	519	975	1,800		
	一般財源	2,616	1,953	1,585	2,084		
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)		357	740			
	人件費(人工分)(B)	24,180	23,900	23,900	19,460		
人工	正規	2.3	2.3	2.3	2.1		
	再任用(31h)	0.3	0.3	0.3			
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	2.5	2.4	2.4	1.7		
年間経費(予算又は決算+A+B)		28,151	26,729	27,200	23,344		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
				(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
新たな体験メニューの開発(件)			目標	3	3	3			
			実績	3	3	4			
博物館ボランティアの延べ活動人数(人)			目標	1000	1000	1000	600	600	700
			実績	633	430	442			
学校等への教材利用件数(点)			目標	1600	1600	1600			
			実績	1155	1454	1642			
他団体との共催事業(件)			目標				5	5	5
			実績			5			
学校等への教材貸出件数(件)			目標				100	100	100
			実績			99			

(管理番号)

2022年度 分野 基本政策 政策 予算費目 所属コード 事業 (担当課) (責任者) (基準日)
06 01 05 01 000632000 04 文化財課(博物館) 平田 隆 2022.7.1

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

講座・体験館等開催事業

- ・地域の歴史文化に関する講座、講演会、イベント等を開催した。
- ・児童生徒を対象にした体験事業を開催した。
- ・上記事業の運営には博物館ボランティアが参画し、ボランティア養成のための講座も開催した。

おでかけミュージアム開催事業

- ・学校移動博物館の開催と学校等への教材貸出を行った。
- ・市内の民間施設での展示会(逸品まちかど陳列事業)は、1件実施した。
- ・出前講座を、7件市民団体の要望に応じて行った。

5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・市民や各種団体等との連携は多数実施しているが、事業共催の形を取るような一定規模のものは多くない。
- ・ボランティアについては新型コロナウイルスの影響で体験学習事業やイベントが中止・縮小されたものが多いため、活動日数が限られた。
- ・学校教育との連携は計画どおり進んでいる。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮した事業実施

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

親子で参加しやすい体験型の催しや、成人向けの歴史講座等を開催して、市民に地域の歴史文化の魅力をわかりやすく周知するとともに、リピーターの増加を図った。

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・幅広い層が楽しみ、学ぶことのできる講座、体験学習等の事業を展開していく。
- ・市民や各種団体との連携を深めることで、各種事業に幅と厚みをもたせていく。
- ・ボランティアの活動の幅を広げ、さまざまな人材により事業を運営していく。
- ・学校教育との連携は充実しており、引き続き維持していく。

7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

講座・体験館等開催事業

- ・定期的講座を継続するほか、展示等にあわせて講演会、講座、見学会などを開催する。
- ・体験学習事業は、児童生徒の長期休暇期間を中心に開催し、ボランティア活動や市民協働により開催する。
- ・ボランティア養成講座を開催するほか、活動の幅を広げて、ボランティアの質や意欲を高める。

おでかけミュージアム開催事業

- ・学校移動博物館の開催と学校等への教材貸出を引き続き行う。教員に向けて博物館活用のための研修を行う。
- ・市内の民間施設での展示会(逸品まちかど陳列事業)や出前講座を、積極的に周知して推進する。

事業シート (事業名) 05 博物館資料調査収集活用事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

浜松の歴史文化遺産を広く調査収集し保存することを目的として、これらの歴史文化遺産により、過去の浜松の人々の営みを市民に紹介するとともに、現在の生活文化を将来の浜松市民に伝えていく。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1979	—	一般会計	自治事務(その他)	博物館法

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							
重点戦略	—	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

①都市		④教育							
事業とゴールの関連性	・地域の歴史文化遺産を調査・保存することにより、文化遺産・自然遺産の保護保全を行う。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	4,845	5,075	10,808	9,986		
	決算	3,979	4,401	9,280			
	国・県支出				1,798		
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	3,979	4,401	9,280	8,188		
人件費(報酬等)(A)			621	152			
人件費(人工分)(B)		17,060	16,360	15,660	22,820		
人工	正規	1.3	1.2	1.1	2.1		
	再任用(31h)	0.5	0.5	0.5			
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	2.2	2.2	2.2	2.9		
年間経費(予算又は決算+A+B)		21,039	21,382	25,092	32,806		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
				(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
新着資料の公開件数(件)			目標	10	10	10			
			実績	3	6	18			
収蔵資料台帳の整備件数(件)			目標	100,000	100,000	100,000			
			実績	81,560	82,737	85,555			
収蔵資料台帳の公開件数(件)			目標	12,000	12,000	12,000			
			実績	11,821	11,971	11,992			
新規受入資料(当該年度とその前年度)の展示公開率(%)			目標				70	70	70
			実績			31			
収蔵資料台帳のデジタル化件数(件) ※2025年度100,000件目標			目標				87,500	90,000	95,000
			実績			85,555			
学芸員が資料調査に出向いた件数(件)			目標				15	15	15
			実績			24			

(管理番号)									
2022年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	06	01	05	01	000632000	05	文化財課(博物館)	平田 隆	2022.7.1

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

- 資料調査収集事業
 - 考古、歴史、民俗、文献等、価値ある歴史文化資料を調査、購入、寄贈等により受け入れ、整理し保管した。
 - 新たな資料の情報に対応し、調査及びデータ収集を行った。
 - 文化財IPM(総合的有害生物管理)を推進し、害虫やカビの侵入に対する職員の意識を高めるとともに、日常的に防虫防カビ、温湿度管理を行い、また定期的に燻蒸処理をして適切な保存環境を維持した。
 - 館内の全館燻蒸を9月に実施した。
 - 伊場遺跡出土品の重要文化財指定に向けて、資料の整理を行った。
- 電子データ作成公開事業
 - 分館を含む博物館収蔵品における、紙のアナログ台帳や未登録資料についてデジタル収蔵品台帳への登録を推進した。
 - デジタル収蔵資料台帳の一部の情報について、画像データとともにインターネット上での収蔵資料公開システム「ある蔵」で公開した。



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

- 事業の成果と課題

指標の達成度

 - 新規受入資料の一部について展示で公開活用した。
 - 収蔵資料デジタル台帳の整備と公開については、本館・分館の収蔵資料が膨大であり、推進方法の再検討が必要である。
 - 学芸員による資料調査は行われているが、調査研究体制の確立が必要である。
- 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)
 - デジタル化によるインターネット上での公開が進んでいるため、対応が必要である。



6 事業の見直し (Action)

- 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

 - 収蔵資料デジタル台帳の整備の推進は急務であるが、予算的制約や人員不足により、少しずつしか進んでいない。
 - 収蔵庫内部の整理・整頓が不十分である。
 - 学芸員の調査研究体制が十分整っていない。
- 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

 - 収蔵資料デジタル台帳の整備や公開を推進するために、目標を定めた上で必要な予算と人員を投入する必要がある。
 - 学芸員の調査研究テーマを定め、講座や展示、刊行物にその成果を示すことのできる体制を構築する必要がある。
 - 定期的な収蔵施設の点検・清掃・整頓を長期的に取り組んでいく必要がある。



7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

- 資料調査収集事業
 - 考古、歴史、民俗、文献等、価値ある歴史文化資料を調査、購入、寄贈等により受け入れ、整理し保管する。
 - 新たな資料の情報に対応し、調査及びデータ収集を行う。
 - 文化財IPM(総合的有害生物管理)を推進し、害虫やカビの侵入に対する職員の意識を高めるとともに、日常的に防虫防カビ、温湿度管理を行い、また定期的に燻蒸処理をして適切な保存環境を維持する。
 - 伊場遺跡出土品の重要文化財指定に向けて、資料の整理を行い、図録を刊行する。
 - 銅鐸複製品を製作し、出土した地域での活用を図る。
 - 各学芸員が調査研究目標を定め、その成果を展示、講座、刊行物等で市民に還元していく。
- 電子データ作成公開事業
 - 分館を含む博物館収蔵品における、紙のアナログ台帳や未登録資料についてデジタル収蔵品台帳への登録を推進する。
 - デジタル収蔵資料台帳の一部の情報について、画像データとともにインターネット上での収蔵資料公開システム「ある蔵」で公開する。